

参考資料

■「シボレー カマロ」とは

「シボレー カマロ」は、初代1966年(1967年モデル)発売以来、流麗なクーペスタイルとパワフルな走りのV8エンジンを中心に、常に時代の変化を捉えパフォーマンス、スタイリングと共に最新技術を投入しながら進化を遂げ、アメリカンスポーツクーペの象徴的モデルとしての確固たる地位を築いてきました。

日本市場においても、その個性的デザイン、力強いパフォーマンス、2+2パッケージが支持され、20年以上にわたり累計2万台以上販売されているモデルです。

■新型「シボレー カマロ」の特徴

第6世代目にあたる ALL NEW「シボレー カマロ」は、“Evolution is never without purpose/理由無き進化はない”をコンセプトとし、「カマロ」のDNAを継承しながら無駄のない引き締まったスタイリング、「カマロ」史上最も力強いエンジン(SS)、軽量かつ高剛性ボディに一新されたシャシーによる軽快な走り等、格段の進化を遂げています。

よりパワフルで、より速く、より俊敏なパフォーマンスを実現

新型「シボレー カマロ」は、速さと俊敏性が進化した新たな走りを体験させてくれます。この走りを実現させているのは、さらなる軽量化を果たした新しいアーキテクチャーと、バリエーションが広がったパワートレインです。新たに開発したアルミ&コンポジット素材で21%軽量化したサスペンションシステムがバネ下重量を軽減。車体は入念なCAD設計によりフレーム剛性を28%強化、ホワイトボディで60.5kg、車両重量で90.7kg以上の軽量化を達成させています。エンジンには、「カマロ」史上最も効率的な2.0リッターブースタードライブ4気筒ターボエンジンと、最高出力339kW(461PS)・最大トルク617N·m(メーカー参考値)を発生する「カマロ」史上最もパワフルな6.2リッターブースタードライブV型8気筒OHV VVT「LT1」エンジンを新たに搭載。それぞれ8速パドルシフト・オートマチック・トランスミッションが装備され、開放感あふれる走りを思いのままに堪能できます。

「カマロ」のDNAを継承しながら、現代的に洗練度を高めたエクステリア&インテリア

新型「シボレー カマロ」のエクステリアは、先代よりも全長、全幅、全高、ホイールベースともにコンパクトながら、さらに力強く、ワイドでボリューム感のある、スポーティで彫刻的なスタイリングを実現しました。初代のグリルにインスパイアされた低く、ワイドなスタンスを印象付けるフロントグリルや、一新した現代的なLEDシグネチャーランプ、新たに造形されたリアデザインなど、「カマロ」のアグレッシブなプロポーションを強く印象付けています。

初代「カマロ」のインストルメントパネルを現代的に再解釈したインテリアは、主要部にタッチパネルコントロール、シートには豊かな質感をもつ上質なレザーを採用し、洗練度を一層高めています。

さらにクライメートコントロールを全て円型に一新したエアベントに統合。クリーンなコックピットとエルゴノミクスを向上させています。

コネクティビティ、インフォテイメントに投入した先端テクノロジー

先進装備を満載した室内空間には、エンターテイメントを重視するシボレーが独自に開発したインフォテイメントシステム「シボレー MyLink(マイリンク)」を標準装備。メータパネルの中央にレイアウトされた 8 インチディスプレイがインターフェースとして機能し、音楽、写真、動画再生機能等、より楽しいドライビング体験を実現します。また、もう一方のメータパネルには、パフォーマンスに関する重要な情報を確認するためのアナログメータと、パフォーマンス、およびインフォテイメントなどに関する機能を表示するための、高解像度 8 インチダイアゴナル高解像度センターカラータッチスクリーンを搭載。さらに Bose プレミアムオーディオシステムに加え、快適なドライビングをサポートする“Apple CarPlay”、“Android Auto”にも対応しています。

米雑誌「Wards」が選ぶ「10 ベストインテリア」に新型「シボレー カマロ」がランクイン

新型「シボレー カマロ」のインテリアは、2016年4月、米国自動車誌「Wards」により「10 ベストインテリア」に選出されました。

「Wards」のシニアエディターを務めるトム・マーフィーは、「ゼネラルモーターズは、新型「シボレー カマロ」のキャビンを見事な完成度に仕上げました。極めてハイグレードな素材を惜しげもなく使用しているカマロは、このセグメントにおいて新たなスタンダードを確立しています」と選出の理由を語りました。「このマッスルカーのインテリアパーシに、表面のソフト仕上げが沢山取り入れられていることを誰が想像できるでしょうか。しかもスポーティな走りにこだわったスポーツクーペらしさは損なわれていません。車づくりに対する変わらぬ姿勢が感じられます」とその完成度の高さを称えています。

新型「シボレー カマロ」主要諸元

※数値は全てメーカー参考値です

モデル	シボレー カマロ LT RS	シボレー カマロ コンバーチブル	シボレー カマロ SS
エンジン形式		LTG	LT1
エンジン	直噴直列4気筒 DOHC VVT (インターフーラー/ターボチャージャー付)		直噴V型8気筒 OHV VVT
全長×全幅×全高	4,780×1,900×1,340mm	4,780×1,900×1,350mm	4,780×1,900×1,340mm
車両重量*	1,570kg	1,670kg	1,710kg
乗員定数	4名		
総排気量	1,998 cc		6,153 cc
最高出力	205kW(279PS)/5,500rpm		339kW(461PS)/6,000rpm
最大トルク	400N·m(40.8kg·m)/3,000-4,500rpm		617N·m(62.9kg·m) /4,400rpm
駆動方式	後輪駆動		
トランスミッション	8速AT		
タイヤサイズ	245/40R20(フロント) 245/40R20(リア)		245/40ZR20(フロント) 275/35ZR20(リア)

*車両重量は北米車参考値です